

学校教育目標 ～自信と誇りを持って行動できる生徒の育成～
進んで学ぶ生徒 思いやりのある生徒 心身ともにたくましい生徒



玉中だより No.6

すべては子供のために すべての子供のために
令和5年9月1日

文責 吉沢 猛

「日常？」が戻ってきます

コロナ禍から3年。今年の夏季休業中は、ここ3年間とは異なってきました。我々教職員の出張も、以前のように「対面」が戻ってきました。電車やバスに乗ればマスク着用の割合が極端に減ってきました。たまに外食にでかければ、いつもほぼ満席（そういえば某牛丼チェーン店に昼食を食べに行くと混みすぎて店員さんがてんでこ舞い、品物が届かず怒って帰ってしまうお客さんも数名）。

テレビをつければアナウンサーが「声出し応援が出来る甲子園」と何度もアナウンス（大好きなプロレスでもお客さんが大声で応援や、ブーイング）。でも、血圧の薬をいただきにかかりつけの病院に行けばすごい混みよう（発熱者は車で待機、その後、別室で・・・）。私たちは何を学んできたのか、そしてどう生きるか。

不安定、不確実、複雑、不明確な世の中。これまでの「日常」は形を変えて行くでしょう。ガソリン価格は上がり、スーパーのほとんどの物が値上がり。買い物に行けば、無人レジのレーンが増え、マイバッグに自分で品物を詰める。食事に行けば注文はタッチパネル、品物をロボットが運んできて、会計は電子マネー決済（そういえばガソリンスタンドはずいぶん前からセルフ給油でしたね）。機械に弱い私の母親曰く「もう食事も、行きづらいね」。人手不足と働き場不足（相反しているようで、そうでもない）。

お盆に離れて暮らしている長男家族と次男が帰って来てくれました。旅行から戻った娘や、私の母親も招いて久しぶりに大勢での食事。8か月の孫を囲んで楽しいひととき。前の晩から妻がたかさんの手料理と準備。「こんなに準備して大変だったでしょう」と私の母。「私たちもお母さんたちにいっぱいしてもらったから」と妻。「変わることを、引き継ぐこと」

今日から2学期、夏休み中にたくさんの生徒が様々な場で活躍してくれました（部活動、陸上、作文発表 等）。また夏季休業期間を、自らを高めるために「効果的、効率的に」過ごした生徒もたくさんいるでしょう。これまでの、基礎・基本（不易）は変わらないのでしょうか。「確かなもの」をしっかりと身に付け、新たな事象（流行）に「しなやかに」対応していく。いままでの当たり前の「日常」は日々変化し、新たに「よりよい日常」を創っていく。

さあ、再スタートです。二学期も保護者の皆様、地域の皆様、ご協力をお願いいたします。

PTA親子環境整備ご協力いただきありがとうございました。
 うございました。
 7月29日土曜日。早朝よりご協力いただきありがとうございました。お陰様で環境を整えることが出来ました。保護者の方だけでなく地域の皆様にも応援いただき御礼申し上げます。
 頑張ってくれました 吹奏楽部
 埼玉県吹奏楽コンクール西部地区大会 金賞
 所沢市ミュージズで素敵な演奏をしてくださいました。
 人権作文集「はばたき」掲載
 3年生 さんの作文が掲載されました。

10月の行事予定

| 日 | 曜 | |
|----|---|-------------------------------|
| 1 | 日 | 町民体育祭 |
| 2 | 月 | 登校指導 比企地区学力テスト (3年) |
| 3 | 火 | |
| 4 | 水 | 避難訓練 |
| 5 | 木 | 集会日課 全校集会 生徒会認証式 |
| 6 | 金 | 文化祭準備 |
| 7 | 土 | 土曜授業 文化祭 |
| 8 | 日 | |
| 9 | 月 | スポーツの日 |
| 10 | 火 | |
| 11 | 水 | 卒業証書製作3年 定期試験前部活動停止 |
| 12 | 木 | 集会日課 生徒会専門委員会 県新人大会陸上 |
| 13 | 金 | 学校運営協議会 県新人大会陸上 |
| 14 | 土 | |
| 15 | 日 | ときがわ町もみじ太鼓まつり |
| 16 | 月 | 中間テスト |
| 17 | 火 | |
| 18 | 水 | 比企地区駅伝競走大会 |
| 19 | 木 | 比企地区駅伝競走大会予備日 |
| 20 | 金 | |
| 21 | 土 | |
| 22 | 日 | |
| 23 | 月 | 昼清掃日課 45分4時間 三者面談 学校公開 |
| 24 | 火 | 昼清掃日課 45分4時間 三者面談 学校公開 |
| 25 | 水 | 昼清掃日課 45分4時間 三者面談 玉川班音楽祭 |
| 26 | 木 | 昼清掃日課 45分4時間 三者面談 |
| 27 | 金 | 昼清掃日課 45分4時間 三者面談 班特別支援学級交流遠足 |
| 28 | 土 | |
| 29 | 日 | |
| 30 | 月 | |
| 31 | 火 | |

追悼 テリー・ファンク

自分が小学6年生の頃、それまでプロレスに見向きもしなかった友達が「吉沢、プロレス好きなんだろ？テリー・ファンクってカッコいいな」と話しかけてきた。月刊ゴング、月刊プロレスを休み時間に読み合う仲になった。

それまで、ロビンソン、デストロイヤーを除いて日本人側につく外国人レスラーは少なかった。ところがある試合をきっかけにテリー・ファンクと兄ドリー・ファンク・ジュニアはプロレスファンの人気者となった。

その試合はこうだ。1977年の世界オープンタッグの開幕戦、日本人エースのG馬場、J鶴田VSザ・シーク、アブドーラ・ザ・ブッチャー戦、シーク、ブッチャーの反則攻撃に馬場、鶴田組が苦しみ、結果敗北。試合後尚暴れるブッチャー、シークに突然控え室を飛び出したテリーが馬場、鶴田を救出。しかし救出後テリーはブッチャー、シークに血だるまにされてしまう。それまで日本人選手を救出する外国人選手を見慣れていなかったプロレスファンの注目の的となる。決勝戦はドリー・ファンク・ジュニア、テリー・ファンクVSブッチャー、シーク。ブッチャーに二の腕にフォークを刺され大流血。控え室に戻り包帯だらけの二の腕のまま兄ドリーを救出。そして、勝利。当時の子供たちは「諦めない、兄弟愛、破天荒さ」等をテリー・ファンクから学んだのでした。合掌。

若い頃先輩に「吉沢、相手の前で腕を組むというのは相手を拒絶しているという合図に見えるんだよ」といわれました。先日、ある会で司会をしていたときのこと、参加者が椅子にふんぞり返りながら腕組みをしていました。「あー、私は受け入れられていないんだ」と落胆。玉中生のみんな、あなたにはどんな癖があり、相手にどう見られる癖か自分自身を知っていますか？